

塩化物の需要内訳 (2008年度)

(単位：トン)

用途部門	品目	塩酸(35%換算)			液体塩素 (100%換算)	次亜塩素酸ソーダ (12%換算)
		合成塩酸	副生塩酸	計		
紙・パルプ		31,167	20,986	52,153	41,464	65,342
化学繊維		991	779	1,770	—	6,213
染色整理		696	2	698	—	11,997
食品		75,837	28,665	104,502	421	33,716
石油精製		10,300	11,334	21,634	2,345	5,664
セロファン		—	480	480	—	1,031
化学工業		374,918	535,586	910,504	379,042	260,782
	無機薬品	91,298	72,875	164,173	43,870	52,895
	次亜塩素酸ソーダ	259	235	494	17,468	7,745
	その他の無機薬品	91,039	72,640	163,679	26,402	45,150
	有機・石油化学	9,750	118,335	128,085	138,641	8,457
	染料・中間物	11,774	46,155	57,929	38,386	2,003
	石けん・洗剤	3,326	68	3,394	—	38,480
	電解ソーダ	128,531	130,012	258,543	1,527	23,371
	プラスチック	3,387	11,441	14,828	51,730	5,439
	重曹	—	174	174	2,340	—
	高度さらし粉	224	—	224	1,355	—
	その他化学工業	126,628	156,526	283,154	101,193	130,137
非鉄金属		18,311	24,837	43,148	12,250	8,719
電機・電子		81,645	45,859	127,504	688	12,992
医薬		15,971	7,545	23,516	1,659	6,052
鉄鋼		43,215	37,789	81,004	506	21,832
農薬		6,492	2,558	9,050	16,602	8,033
電力		11,402	21,356	32,758	12	1,982
上下水道		1,625	3,387	5,012	7,743	223,901
水処理・廃水処理		22,406	81,156	103,562	820	53,589
その他		76,184	8,925	85,109	2,619	211,500
合計		771,160	831,244	1,602,404	466,171	933,345

注1) 需要内訳は、輸入を含まない出荷実績による。

注2) 表中の項目のうち、11ページの円グラフに表示がないものは、化学工業については「その他化学工業」に、また、他のものについては「その他」に含めて表示している。

注3) 副生塩酸は電解製造会社のみ数量。

塩酸：2008年度の塩酸の需要は、合成塩酸が前年度に比べ、1.4%の減少でしたが、副生塩酸が13.8%と大きく減少したため、全体で8.2%の減少となりました。

需要の内訳を見ると、主要な分野では、唯一電解ソーダだけが若干増加しましたが、その他は減少となり、特に、紙・パルプ、無機薬品、非鉄金属、電機・電子、鉄鋼、水処理・廃水処理、「その他」などが二桁の減少となりました。

需要先別に見ても、副生塩酸の落ち込みが大きく、全体として減少幅が拡大しています。

液体塩素：2008年度の液体塩素の需要は、前年度に比べて14.9%の大幅な減少となりました。

主要な分野では、紙・パルプ、無機薬品、有機・石油化学、染料・中間物、プラスチック、非鉄金属などで二桁の減

少となりました。この中で、染料・中間物が23.3%と最大の下落率となり、これに対して、農薬が5.4%と、最小の下落率となっています。

次亜塩素酸ソーダ：2008年度の次亜塩素酸ソーダの需要は、前年度に比べて、5.5%の減少となり、塩化物3製品の中では、一番下落率が小さくなっています。

1万トン以上の需要先を見ると、石けん・洗剤、水処理・廃水処理、「その他」では、増加となりました。

一方、紙・パルプ、食品、電機・電子では、二桁の減少となりましたが、その他では一桁の減少に止まっています。

特に、最大需要先の上下水道では、1.9%と、僅かな減少となっています。